

1 本年度の重点教育目標

・思いやりの心で ふれあい 高め合う子

2 本年度の取組の重点

・「5つのあ+i (ICT)」の推進（ありがとう、あいさつ、あんぜん、あとしまつ、あきらめず）+ICTの活用
・特別支援教育の充実 ・確かな学力の向上 ・基本的な生活習慣の定着 ・保護者や地域、関係機関との連携

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
学校における指導体制の充実	①教育目標等について共通理解を深め、共通意識と協働体制による学級経営や分掌運営に努めたか。	a	・教育指標「自分で『5つのあ』」（重点「ありがとう」「あいさつ」）を進んで実践できる子どもの育成、教職員の業務改善、組織的協働・協力体制の充実に努める。	A	A	「5つのあ」は、湯川小学校の伝統になっている
	②特別な支援が必要な児童への対応と指導体制の充実に努めたか。	a	・校内での連携・情報共有を密にし、SC等の活用、個別的教育計画・指導計画の充実に図るとともに、組織的な支援体制の充実に図る。	A	A	
確かな学力を育む教育の推進	①一人一人の確かな学力を育み、教育指導の充実・改善に努めたか。	b	・ICTの活用をさらに進め、教科担任制の積極的な実践に取り組む ・個別最適な学びと協働的学びの一体的な充実を進め、自己指導能力の開発を目指す授業改善を図る。 ・函館の自然や歴史、伝統文化を活用した学習を推進する。	A	A	
	②分かる授業づくりに向けて研修活動に努めたか。	b	・学習場面でのICTの活用等、資質向上意識とそれに伴う継続した授業改善の実践に努める。	A	A	Chromebookの活用 自宅持ち帰り学習の効果を期待
豊かな心を育む教育の推進	①より良い生き方を求め、豊かな心を育む道德教育の推進に努めたか。	a	・教育活動全体を通じた道德教育の推進し、「特別な教科 道德」の指導の充実に図るとともに、人権尊重の意識の育成と醸成を図る。	A	A	習熟した学習の実践化
	②生徒指導の機能を生かし、いじめや不登校等に対して迅速・適切な対応をとったか。	a	・児童の実態を把握し、情報共有・共通理解を図り、より迅速な対応に努める。	A	A	
健やかな体を育む教育の推進	①自ら健康で安全な生活を営む能力や態度を育ててきたか。	b	・安全・防災教育の充実に図り、危機回避能力の育成と醸成に努める。 ・運動の習慣化に向け、運動の楽しさを実感できるような指導の工夫と充実に努める。	A	A	
	②児童の安全を守る教育と危機管理の推進と充実に努めたか。	a	・様々な事案を想定した安全教育の充実に図るとともに対策・体制の整備に努める。 いじめへの適切な対応の充実に図る。	A	A	ハザードマップの活用
家庭・地域と連携した教育活動の推進	①CS制度の趣旨を生かし、地域・家庭とともにある学校作りの推進・充実に努めたか。	a	・CSを活用した地域連携・交流をさらに進め、地域人材や地域環境の活用を図る。	A	A	PTA活動の活発化が進んでいる
	②学校間の連携接続を目指し情報共有と同一歩調による取組に努めたか。	b	・小中一貫教育の推進として湯川中学校区の重点教育目標「あいさつ」「家庭学習」の取組の充実と達成を目指す。	A	A	湯川中学校・戸倉中学校との連携強化を望む

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。